

『知らない』 作：ポチ子

『知らない』 作：ポチ子

彼女は雨を知らない。

いや、知らなかったらしい。

彼女がこの街に引っ越してきた時、

そう言っていたから。

以前住んでいた街は、

一年中晴れが続く、

そんな街だったらしい。

これも引っ越してきた時、言っていた。

この街とは真逆だね。

僕はそう言ったけど、

彼女は窓の外を見つめるだけで、返事はしなかった。

一年中雨の降り続く街。

産まれた時からそうだから、

考えたことなんてなかったけれど、

彼女にはこの街がどう映ってるんだろう。

彼女の気持ちを少しでも知りたくて、

僕も窓の外に目をやった。

灰色の雲と土砂降りの雨。

いつもの景色がそこにあった。